

中央公民館だより

そうぞうながと

発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当

TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648

6月

2020年
中央公民館広報紙
No.154



青空に泳ぐ、鯉のぼり

「山陰 長門・俵山道路」の長門湯本温泉IC付近で、青空に泳ぐ鯉のぼりを見ることができます。

毎年、初夏の風物詩となっており、道行く人を楽しませています。

鯉は、立身出世のシンボルで鯉が滝を昇って龍となる「登竜門」に由来。

健康で元気に成長してほしいと、愛情を込めて将来を願う思いが込められています。



「早く大きくなってね」 園児がひまわりの種まき

深川幼稚園では、休耕田を有効活用した様々な保育活動に取り組んでいます。今年も、ひまわり迷路を作るために、園児たちが種まきに挑戦しました。園児たちが畑に指で穴を開け、3粒ずつ植えました。昨年は、強風の影響でヒマワリが倒れましたが、今年は「しっかり成長してほしい」と願いを込めて植えました。

ひまわりは、キッズスマイルと言う品種で高さが1mに成長。園児の目線に花が咲き、花に囲まれながら「ひまわり迷路」を楽しむことができます。



一昨年の「ひまわり迷路」



松野園長は、休耕田の活用として、園児たちの屋外での楽しい遊び場を確保し、さらには、色々な野菜の植え付けから収穫までの農業体験をしっかりとさせながら、食育の大切さを学ぶ場としても活用しています。

毎年恒例、深川川に稚鮎の放流

5月14日（木）深川川漁業協同組合員が、稚鮎1万5千匹を、長寿橋下流の河川敷近くの深川川に放流しました。4月20日にも第1回目の放流として4万匹を放流しています。

例年、この事業は稚鮎の放流に併せて、地元小学生による放流体験と川の役割を学ぶ勉強会を兼ねています。今年は新型コロナウイルス感染症を考慮して、小学生参加は中止となり、組合員10名が参加して実施されました。放流は、深川川の15箇所で行われています。

「ふるさとの川を美しく守ろう」

大上会長は「ここ2、3年天然鮎の遡上が見受けられなかったが、今年はかなり天然鮎が遡上しているのを会員が確認している。6月1日が解禁日となっている。早く大きくなって、釣り客を楽しませてほしい。」と話します。



コロナウイルスに負けず

青空教室で勉強会

コロナウイルス対策で、公民館が長期に休館となつていますが、登録団体の「たのしいスマホ」の会が赤崎山グラウンドで、青空勉強会を実施しました。

津田会長の発案で、感染防止に注意しながら、半分ピクニック気分の勉強会。スマホを使い、ラインを活用したビデオ通話のやり方を講師から教えてもらい、お互い距離を保ちながら会話を楽しみました。



赤崎山グラウンドで、ビデオ通話を勉強する会員

野菜ソムリエ 佐藤顕吾の

旬食材の豆知識

今月のおすすめの果物は「メロン」です

植物学上ではウリ科キュウリ属の野菜ですが流通は果物として扱われる「果实的野菜」です。メロンには血圧を安定させるカリウム、便秘の改善の食物繊維が含まれます。

ネット系は指で押してやや柔らかい物、ネット無しは甘い香りが出てきたら食べ頃のサインです。冷やし過ぎると甘みが落ちるので常温で保存しましょう。私は熊本県の肥後グリーンメロンが甘くて値段で好きです。

色んな種類で食べ比べても楽しいですね。



恒例の妙見祭、コロナ対策で中止 園児にお餅をプレゼント

例年5月上旬には、妙見祭と船祭の海上パレードが盛大に開催されており、地元のお祭りとして定着しています。今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、お祭りが中止となり妙見山の妙現神社において、神事のみが実施されました。

当日の餅まきも中止となったので、湊まつりを主催する県漁協湊支店と湊地区まちづくり協議会の方々が、紅白餅600個を深川幼稚園とみのり保育園にプレゼントしました。代表者の方は「地元の子どもたちに喜んでもらい、来年はぜひお祭りに来てもらいたい」と思いを語っていました。



深川幼稚園では、芝生が張られた園庭において、園児48人に餅まきが実施されました。園児達は、拾ったお餅を自慢げに見せながら「お母さんに持って帰る」と嬉しそうに話していました。

【人物紹介】「そつそつなごと」投稿者 祝・110号発行ー 藤井文則氏

伝えたい「ふるさと深川」

平成23年5月号から当時の文化財保護指導員磯谷氏が1年間担当され、それ以来8年間私が担当させていたでいています。時代も平成から令和となり令和2年6月号で110回の発行となりました。

長門市中央公民館 財満館長をはじめ、関係する皆様のご協力をいただき乍ら、記念号として掲載するよう、依頼されました。

ここまで来られたのは、先人達が郷土文化を伝える為に努められたお陰です。

特に故大石正信先生の地道な研究が、長門郷土文化研究会発行著書『ふるさと石仏』『長門のいしづみ』に凝縮されています。この本は、全国的にも誇れる著書だと思っています。旧市内を自らの足で丹念に歩き調査された汗の結晶そのものです。

深川地区には、誇れる文化等が数多くあります。これら一つひとつ掲載していきたいと思っています。掲載するにあたって 次の事項に心がけています。

- 1 自ら現地へ赴き、写真を撮る。
 - 2 未知の分野にも挑戦する。
 - 3 1、2行ほど、自らの言葉を記載する。
 - 4 取材地域のバランスに配慮する。
- 不明時には、地域方々のお知恵をお借りして毎月楽しく取り組みたいと思っています。
今後とも、よろしくお願い致します。



写真は、藤井文則氏
(萩焼名匠泥平の墓)
を調査中

向津具に注目！ 本郷遺跡・本郷山崎遺跡

山口県の考古学の通説が変わるほどの大発見が向津具であったことをご存知の方も多いでしょう。

一昨年の「本郷遺跡・本郷山崎遺跡」発掘のことです。このたびやっと長門市でその発掘品を見ることが出来ます。

従来、弥生時代の稲作は山陽側を中心に語られることが多かったのですが、山陰側でも行われていたことがはつきりと証明されました。

縄文時代晩期の土器片や県内最多の祭祀土器など、縄文時代から弥生時代へと時代が移っていく様子をその発掘品を通して見ることが出来る貴重なものです。

ぜひ、この機会に本物をご覧ください。古代の長門人へ想いを馳せてください。
展示期間は6月21日(日)まで、ながと歴史民俗資料室にて開催中(開館時間は9時から17時まで) 土日祝日も開館しています。

発掘された山口

2年ぶりに
宝塚の

本郷遺跡・本郷山崎遺跡出土品
(約200点展示)

4/25(土)
~6/21(日)
9:00~17:00
本・土・日・祭日開館
ながと歴史民俗資料室
(長門市教育委員会1階)

お問い合わせ先
長門市教育委員会
生涯学習・文化振興
文化財保護課
長門市東瀬川 2660-4
TEL:0837-23-1264

◇問い合わせ◇
ながと歴史民俗資料室
TEL 23-1264

伝えたい「ふるさと深川」シリーズ110
 萩焼深川窯作品寄贈 寄贈者 安堂繁美氏

平成29年1月31日、周南市在住の安堂繁美氏から萩焼深川窯作品147種類299作品を長門市に寄贈されました。

安堂氏は、20代の頃から、深川窯作品の魅力に惹かれて60年間蒐集を続けて来られました。

その理由は「山海を中心としたデザインが優れていて、使い易く丈夫で民衆に根差したすばらしい作品です。深川窯の特徴であるサメ肌やトカゲ釉薬を使った日常生活にかかせないもので、温もりがあり今の世でも通用する魅力ある作品です。」
 日常使用される作品だからこそ、完全な型で現存しているのは困難なのです。それだけに時間との勝負でした。萩焼深川窯作品の情報があれば、何処でも蒐集に出かけた歴史があります。

長門市では、平成15年「萩焼深川窯350年展」を企画し、準備を進めていました。当時山口県立美術館長故河野良輔氏は、安堂宅を再々訪ねて、安堂氏の所有する萩焼深川窯作品を評価していました。

安堂氏は、萩焼の権威者である河野先生に認められ、長年の夢が叶ったことを大変喜んでおられました。

然しながら、河野先生は体調を崩され、平成20年1月に逝去され、「萩焼深川窯350年展」の企画も中止になりました。

安堂氏の手元に、河野先生から送られた巻紙に毛筆の手紙が大切に保管されています。

山口県地方史学会理事 藤井文則



萩焼深川窯作品
 ビラ掛け水注ぎ



安堂繁美氏
 (萩焼深川窯
 作品寄贈者)

我が家の宝子



しみず やや ゆゆ (2歳) 湊3区
 清水 裕介・亜里沙さんの長女・二女として、平成30年2月27日に誕生。
 たくさんの言葉と歌を覚えて教えてください。ケンカする事も多いですが、そんな時はお兄ちゃん達が間に入り、仲良くみんなで遊んでいます。子どもたち4人支え合って成長してほしいです。

今月のうた

山茶花クラブ

蝶追ひて牧場の風につまずきぬ



硝子戸に出会ひ頭の蝶々かな

山田 耕司

幼子の前に後ろに蝶々かな

貝塚 久子

長門短歌会

切ないなコロナ治まる時待たる
 笑顔あふれる人に会いたい

佐貫 勝代

「地球へ」という高校時代に読んだ本
 今怖いほど未来に通ず

原田 満江

恩湯開け藤の花房長く垂れ
 老いも若きも令和の湯本

鹿嶋 誠

深川地区の人口

世帯数	5,921 (-139)
男性	5,887 (-50)
女性	6,729 (-130)
計	12,616 (-180)

(R2年5月1日現在)

中央公民館 6月の行事予定

- 10日(水) 子ども会育成連絡協議会
 深川支部運営委員会
- 25日(木) 長門市子ども会育成連絡協議会 理事会・総会
- 28日(日) 第2回パター・de・ビンゴ大会【中止】

編集後記

「新たな生活様式で！」

緊急事態宣言が、5月14日に39県で解除されました。▼これに伴い、公民館も25日から開館となりました。▼全国各地でコロナ対策に取組み、新たな日常を取り戻すスタートの日でもあります。▼今、自粛を緩めれば感染拡大の第2波を招く恐れもあります。▼段階的に日常の暮らしや活動を取り戻して、終息への道に向けて、一人々が努力をすることが大切です。▼「新しい生活様式」を徹底して！